



第81回国民体育大会 宮崎県準備委員会

第2回広報・県民運動専門委員会

1 議事

- (1) 第1号議案
第81回国民体育大会愛称・スローガンについて（案）・・・・・・・・・・ P 1
- (2) 第2号議案
第81回国民体育大会愛称・スローガン募集要項（案）・・・・・・・・・・ P 3
- (3) 第3号議案
第81回国民体育大会愛称・スローガン審査要領（案）・・・・・・・・・・ P 8
- (4) 第4号議案
第81回国民体育大会マスコットキャラクターについて（案）・・・・・・・・ P 10

2 その他

今後の広報活動について

平成30年12月19日（水）

宮崎観光ホテル 西館8階 ブリリアントホール

第 8 1 回国民体育大会愛称・スローガンについて（案）

1 趣旨

第 8 1 回国民体育大会の広報活動の一つとして、開催基本方針を基本とした広報基本方針および広報基本計画に基づき、第 8 1 回国民体育大会を象徴し、広く県民に愛されるような愛称とスローガンを募集し、制定する。

2 愛称・スローガン制定の進め方

(1) 募集方法等

一般公募とし、チラシやポスター、インターネットをはじめとする、各種メディアを活用して県内外から広く募集する。

(2) 選定方法等

① 応募のあった愛称・スローガンを審査し、選定案を作成するため、専門委員会規程第 5 条第 1 項に基づき、広報・県民運動専門委員会に「愛称・スローガン選定部会」を設置する。

② 愛称・スローガン選定部会で最終候補作品案を 10 点程度選定し、広報・県民運動専門委員会において、最優秀作品 1 点、優秀作品 3 点の選定案を作成し、常任委員会で決定する。

③ 選定された最優秀作品等の応募者に賞状と副賞（賞金）を授与する。

(3) ロゴデザイン

決定した愛称・スローガンにデザイン等の加工を施し、公表する。

4. 制定スケジュール（予定）

期 日	広報・県民運動専門委員会	愛称・スローガン選定部会
2018年12月	第2回専門委員会 募集要項・審査要領の審議	
2019年度 (取組内容)	第3回専門委員会 愛称・スローガン選定部会設置	
	募集チラシ作成・配布	
	公募開始	
	応募締切	
	選考開始	
		選定部会 最終候補作品案10点程度選定
	第4回専門委員会 最優秀作品1点 優秀作品3点 選定案作成	
愛称・スローガンの決定【常任委員会】		
愛称・スローガンのロゴデザイン決定・公表		

第81回国民体育大会愛称・スローガン募集要項（案）

1 趣旨

2026年に宮崎県で開催する第81回国民体育大会（以下「大会」という。）は、「スポーツの持つ力と可能性」により、広く県民に元気・勇気・感動を与え、県民総参加型による“おもてなしの心”あふれる大会を目指します。

この大会の機運を高めるために、大会を象徴し、広く県民に愛され、宮崎の魅力を県内外に発信できるような「愛称」と「スローガン」を募集します。

2 募集期間

2019年8月12日（月）から9月30日（月）まで（当日消印有効）

3 応募資格

制限はありません。

4 募集作品

（1）愛称

親しみやすく呼びやすい、宮崎県らしさあふれる言葉で表現された2026年に開催される国民体育大会の名前・呼び名のことで。

「宮崎〇〇国体」、「〇〇みやざき国体」などのように「宮崎」、「国体」の文字を必ず入れてください。なお、「宮崎」の文字は、ひらがな、カタカナ、ローマ字（MIYAZAKI）でも構いません。

（2）スローガン

宮崎県で開催する大会の趣旨や目的、大会に向けた思いを印象付ける言葉・キャッチコピーのことで。

※資料1の「第81回国民体育大会開催基本方針」も参考にしてください。

5 応募方法

（1）応募チラシについているはがき、FAX又はインターネット（パソコン（スマートフォン等を含む））のいずれかの方法で応募してください。（パソコンをご利用の方は、宮崎県のホームページから応募できます。ただし、電話、電子メールによる応募は受け付けません。）

(2) 応募は1件につき「愛称」、「スローガン」各1作品を明記し、それぞれに説明や込められた思いを必ず記載してください。

なお、「愛称」、「スローガン」のいずれか1作品の応募も可能です。

(3) 応募者の名前（ふりがな）、郵便番号、住所、年齢、電話番号、職業（学校名、学年）を記入してください。

(4) 作品は、自作で未発表のものに限ります。

(5) 1人何作品でも応募できます。ただし、1回の応募につき各1作品の応募とし、それぞれ異なる作品に限ります。

(6) 応募作品に係る経費は、応募者の負担となります。郵便による場合は、切手のないもの等は受け付けません。

6 審査及び決定

第81回国民体育大会宮崎県準備委員会において審査し、入賞作品を決定します。

7 賞及び賞金

応募作品の中から、「愛称」、「スローガン」それぞれ次のとおり最優秀賞及び優秀賞を選定し、賞状、賞金を授与します。

なお、入賞者が中学生以下の場合には、賞金に代えて賞金相当額の図書カードを贈呈します。

また、複数の方からの応募があった作品が入賞した場合は、審査及び抽選により受賞者を1名決定します。

(1) 愛称

最優秀賞 1作品 賞状、賞金5万円

優秀賞 3作品 賞状、賞金1万円

(2) スローガン

最優秀賞 1作品 賞状、賞金5万円

優秀賞 3作品 賞状、賞金1万円

8 発表及び表彰

入賞作品の発表は、2020年1月頃に入賞者に直接連絡するほか、ホームページなどで公表します。また、表彰については、別途入賞者に通知します。

9 その他

- (1) 最優秀作品は、第81回国民体育大会の「愛称」、「スローガン」として採用し、その広報活動などに広く使用します。
- (2) 入賞作品の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）、商標権その他一切の権利は、第81回国民体育大会宮崎県準備委員会に帰属するものとします。
- (3) 応募作品について著作権等に関わる問題が生じた場合は、全て応募者の責任となります。
- (4) 応募作品は、返却しません。
- (5) 応募作品は補作（加筆・修正）を行った上で、入賞作品とする場合があります。
- (6) 住所、名前、電話番号等の個人情報については、本事業実施に関わる事務以外には使用しません。なお、入賞者の名前、住所（市町村名）、職業（学校名・学年）については原則公表します。
- (7) この募集要項に違反したものは、審査の対象となりません。後日違反が判明した場合には、入賞を取り消すことがあります。
- (8) 応募の時点で、この募集要項の記載事項に同意したものとします。
- (9) 資料2の「先催県の愛称・スローガンの例」も参考にしてください。

10 応募・問い合わせ先

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号

第81回国民体育大会宮崎県準備委員会事務局

（宮崎県総合政策部 国体準備課内）

TEL：0985-26-0019 FAX：0985-24-1723

HPアドレス：<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kokutai-jyunbi/index.html>

【第 8 1 回国民体育大会開催基本方針】**1 基本方針**

宮崎県は、温暖な気候や恵まれた自然、快適なスポーツ環境を生かしたスポーツチームのキャンプや合宿を通して、多くの選手や観光客が訪れるなど、スポーツが地域振興の大きな柱となっています。

第 8 1 回国民体育大会は、「スポーツの持つ力と可能性」により、広く県民に元気・勇気・感動を与え、県民総参加型による“おもてなしの心”あふれる大会を目指します。

この大会の開催を契機として、競技力の向上や地域スポーツの普及・振興を図るとともに、県民の健康増進や生きがいづくりに取り組みます。

また、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信するとともに「スポーツランドみやざき」の全県展開など、スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを推進します。

2 実施目標**(1) 「チームみやざき」で創りあげる国体**

スポーツを「する」、「みる」、「支える」など、県民がそれぞれの立場で大会に関わり、競技会はもちろん、県民運動や文化プログラム等により、大会の開催機運を盛り上げる県民総参加型の大会を目指します。

(2) スポーツの素晴らしさを体感できる国体

指導者の養成やアスリートの育成など、計画的かつ継続的な競技力の向上を図るとともに、県民一人ひとりがスポーツを通じた健康増進や生きがいづくりに取り組み、スポーツの喜びや楽しさを享受できる大会を目指します。

(3) 宮崎県の魅力を全国に発信する国体

神話や伝統文化、豊かな自然や食に加え、充実したスポーツ環境など、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信します。

また、来県する皆様を“おもてなしの心”で温かく迎え、県民とのふれあいや感動の共有による心の絆を深める大会とします。

(4) 「未来のみやざき」づくりを進める国体

国体の開催を契機として、スポーツの拠点づくりや地域活性化、スポーツ文化の醸成、さらには「スポーツランドみやざき」の全県展開などに取り組み、スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを推進します。

【これまでに開催された国体の愛称・スローガンの例】

開催年 (開催都県)	愛称	スローガン
2017年 (愛媛県)		君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え
2018年 (福井県)		織りなそう 力と技と美しさ
2019年 (茨城県)		翔べ 羽ばたけ そして未来へ
2020年 (鹿児島県)		熱い鼓動 風は南から
2021年 (三重県)		ときめいて人 かがやいて未来
2022年 (栃木県)		夢を感動へ。感動を未来へ。
2023年 (佐賀県)		
2024年 (滋賀県)		

※2023年の第78回大会より改称（「国民体育大会」→「国民スポーツ大会」）

第81回国民体育大会愛称・スローガン審査要領（案）

1 目的

この要領は、第81回国民体育大会の愛称およびスローガンの最優秀賞各1作品、優秀賞各3作品を選定するために必要な事項を定める。

2 審査基準

審査に当たっては、次の事項を勘案して選定するものとする。

【愛称・スローガン共通】

- (1) 言葉の響き、リズムがよく、印象に残ること。
- (2) 一部の地域に限定される表現が用いられていないこと。
- (3) 過去に使用された作品と類似していないもの。
- (4) 第81回国民体育大会開催基本方針に沿った内容であること。

【愛称】

- (1) 「宮崎（みやざき・ミヤザキ・MIYAZAKIも可）」および「国体」という言葉を用いていること。
例) 宮崎〇〇国体、〇〇みやざき国体、ミヤザキ〇〇国体、
〇〇MIYAZAKI国体 など
- (2) 誰からも親しまれ、呼びやすいもの。
- (3) 宮崎県らしさに溢れる言葉で、宮崎県の魅力を全国に発信できること。

【スローガン】

- (1) 宮崎県で開催される国体の趣旨や目的、その国体に向けた思いを印象付ける言葉であること。
- (2) 宮崎県をイメージできる言葉・フレーズが用いられていること。

3 審査方法

審査は、事務局による調整の後、愛称・スローガン選定部会、広報・県民運動専門委員会にて審査を行う。

(1) 事務局による調整（第一次選定）

事務局は、応募作品を取りまとめ、愛称・スローガンごとに「応募作品一覧表」を作成する。

さらに、審査要領に基づき「応募作品一覧表」の中から300作品程度を選定し、「第一次候補応募作品一覧表」を作成する。

(2) 愛称・スローガン選定部会による第二次選定

① 部会は、「第一次候補応募作品一覧表」の中から、優れている作品各10作品程度を優劣をつけずに選定し、その結果を事務局に報告する（部会委員による補正は行わない。）。

② 事務局は、①で報告を受けた作品をまとめ、「第二次候補作品一覧表」を作成する。

(3) 愛称・スローガン選定部会による第三次選定

① 部会は、「第二次候補作品一覧表」の中から、優れている作品を、順位を付けて各5作品を選定する（上位から5点から1点の点数とする。）。その結果を事務局に報告する（部会委員による補正は行わない。）。

② 事務局は、①で報告を受けた作品について類似商標の調査を行った後、得点順に並べた「第三次候補作品一覧表」を作成する。

(4) 最終候補の選定

部会を開催し、部会委員の協議により愛称及びスローガンそれぞれの「第三次候補作品一覧表」の中から上位10作品程度を選定し、順位付けを行い事務局に報告する。

(5) 事務局での整理

選定部会から報告を受けた10作品程度について「最終候補作品」を作成し、広報・県民運動専門委員会に報告する。

(6) 広報・県民運動専門委員会による選定

専門委員会を開催し、事務局から報告を受けた「最終候補作品」について協議し、最終的に最優秀作品候補各1作品と優秀作品候補3作品をそれぞれ選定する（適宜、専門委員会による補正を行うことができる。）。

4 決定

(1) 作品の決定

常任委員会において、最優秀作品候補1作品と優秀作品候補3作品について審議し、愛称・スローガンを決定する。

(2) 受賞者の決定

最優秀作品、優秀作品の応募者が複数ある場合は、審査および別途定める抽選方法により、受賞者を決定する。

第81回国民体育大会マスコットキャラクターについて（案）

1 マスコットキャラクターの役割

- (1) マスコットキャラクターは、大会の象徴として大会開催の重要な役割も持つものである。
- (2) 親しみやすいマスコットキャラクターを選定し、大会準備及び開催期間を通じ広報や県民運動に活用することで、大会開催への機運醸成を図ることができる。
- (3) 各種広報媒体はもとより、着ぐるみによるイベント参加等を通じ、大会の周知やイメージアップに欠かせない存在である。

2 マスコットキャラクターの活用例

マスコットキャラクターを活用することで、大会の周知と機運醸成を図る。

(1) 各種広報媒体（広報グッズやポスター、屋外広告物）での活用



(広報ポスター)



(競技会場の案内看板)



(主競技場のメインゲート)



(広報グッズ)



(マスコットのオブジェ)

(2) イベント等、PR活動への参加



(炬火イベント)



(地域の夏祭り)



(開催前イベント)

(3) 県民運動を盛り上げる中心的存在として活躍



(花いっぱい運動)



(交通マナーアップ運動)

(4) 大会参加章や記念章、賞状等での活用

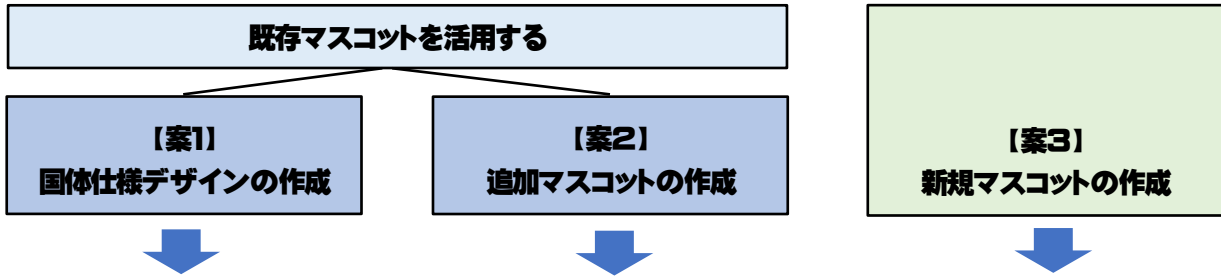


(大会記念章)



(賞状)

マスコットキャラクター選定について



	【案1】 国体仕様デザイン作成	【案2】 追加マスコットの作成	【案3】 新規マスコットの作成
選定方法	○既存のマスコットを起用 →国体仕様デザインへの変更を依頼する。	○既存のマスコットとセットで活用 →関連マスコットの募集 ①一般公募 ②デザイン業者によるコンペ方式 ※上記のいずれか ★関連キャラのアイデア(ストーリー、デザイン、愛称)を一般公募	○デザインの募集方法 ①一般公募 ②デザイン業者によるコンペ方式 ※上記のいずれか ★愛称募集については、いずれの方法でも一般公募により実施
メリット	○使用するマスコットによっては、すでに認知度が高まっていることが期待できる。 ○マスコットの基本があるので、広報活動がスムーズに展開できる。 ○既存のマスコットを活用するため、一定のデザイン力を有する。	○マスコットを追加することで、県民に宮崎国体を強く印象づけることができる。 ○追加マスコットが決定するまで、既存のマスコットを活用した広報活動が展開できる。 ○デザイン関係者のコンペ方式を実施すれば、デザイン力は確保できる。	○マスコットを新規で作成することで、県民に宮崎国体を強く印象づけることができる。 ○一般公募を実施する場合は、県民参画による機運の高まりが期待できる。 ○応募者は多岐に亘るため、多くの方が宮崎国体を意識するようになる。
デメリット	○使用するマスコットによっては国体のイメージにそぐわないデザインになることも考えられる。 ○国体仕様デザインの差を明確にしなければ、国体開催の機運の高まりとしては不十分となる可能性がある。	○国体後の活用のあり方を検討する必要があり、国体までの一過性のもので終わってしまい、浪費になってしまう可能性が高い。 ○追加マスコットの設定を明確にする必要がある。 ○一般公募を実施すると、キャラクターの関連性がなくなる可能性がある。	○国体後の活用のあり方を検討する必要があり、国体までの一過性のもので終わってしまい、浪費になってしまう可能性が高い。 ○一般公募の場合、一定のデザイン力が確保されていない可能性があり、修正等が必要となるため、公募期間も含めて、決定までに時間を要することが考えられる。

先催県のマスコットキャラクター選定状況(2016年～2025年)		
2016年 岩手国体(わんこきょうだい)	2024年 滋賀国体 (チャッピー、キャッピー)	2018年 福井国体(はびりゅう)
2017年 愛媛国体(みきゃん)		2019年 茨城国体(いばラッキー)
2020年 鹿児島国体(ぐりぶーファミリー)		2021年 三重国体(とこまる)
2022年 栃木国体(とちまる)		
2025年 青森国体(アップリート君)		

※2023年 佐賀国体のマスコットキャラクターは未定